



1月17日はおむすびの日

平成7年1月17日 阪神・淡路大震災が起こり
被災地ではそれまでの飽食の暮らしが崩れ去りました

食べ物もなく、不安のどん底にいた多くの被災者は
炊き出しの「おむすび」に助けられました

お米・ごはんの大切さやボランティアの善意を忘れないために

1月17日を「おむすびの日」と決めました

(平成12年に日本記念日協会登録)

この日、食料や危機管理の大切さ、ボランティアの善意
ごはんを食べることが農業・農村や**私たち自身を守る**ということに
考えを巡らせてみませんか？



お米を食べることが地域を守る

水田は中山間から平地に至り、四季折々の美しい景観を形成し、ダムのように洪水防
止や、地下水の調整、水の蒸発で気温上昇を防ぐ等、多面的な機能を発揮します。三重
県のお米を食べることは、水田を守ること、三重県の地域を守ることに繋がります。

